0112

支那駐屯軍三二九ノ四

二七師經庶第五九號
昭和拾參年十一月廿四日

陸軍省御中

八月分経理月報送付ノ件

首題ノ件別冊一通リ送付ス

別冊壱部
八當課ニ保管ス
十二月一日
監査課

別冊二部
當課ニ保管ス
十二月廿日
主計課

陸軍省 13.12.1 受付 10

陸軍省 13.11.29 主計課

昭和十二・十二・二十 軍事 助川鈴

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

0113

機秘

昭和十三年八月分 経理月報

第二十七師團經理部

八月分經理月報

第一 一般狀況

其一 師團ノ行動概要

一、師團八前月二十九日早朝師團司令部ヲ先頭トシテ海路中支ニ轉進揚子江江口通過ノ時ヲ以テ中支那派遣軍司令官ノ直轄トナリ同江ヲ遡リ八月三日南京ニ到着四日ヨリ九日ニ至ル間下関ヨリ上陸内地ニ於テ編成直接中支ニ派遣セラレタル諸隊ヲ其ノ指揮下ニ收メ集結ヲ完了シ別紙第一要圖ノ如ク宿營シ編成ノ充實、次期作戰ノ準備、團結ノ強固及部隊ノ演練ニ專念セリ。

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

二師團八月二十六日ヨリ逐次船舶輸送ニ依リ南京出發途中蕪湖湖口間ハ護衛ノ駆逐艦ト協同シ右岸ノ敵ノ砲撃ヲ制壓シツヽ揚子江ヲ遡航九江附近ニ前進シ大板橋及九江ニ上陸セリ、尚南京出發ノ時ヲ以テ第十一軍司令官ノ隷下ニ復セリ

三師團司令部ハ鞍馬丸ニテ支那駐屯歩兵第一聯隊ノ一部ト共ニ師團ノ先頭トシテ八月二十六日午前八時南京下関碼頭出帆三十日十一時鄱陽湖湖口鞋島附近ニ於テ鞍馬丸ヨリ獨立工兵第十聯隊ノ大小發動機船ニヨリ大板橋ニ上陸後高塘陳村ニ宿營セリ、

四八月三十一日迄ニ九江附近ニ到着セル部隊ノ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ノ概況左ノ如シ

師團司令部
支那駐屯歩兵第一聯隊本部及同聯隊ノ一部(一大隊)
山砲兵第二十七聯隊本部及同聯隊ノ一部(二中隊)

其二　經理一般ノ狀況

一、團下各部隊ノ經理一般ノ狀況ハ北支出發編成改正ノ直後及船舶輸送等ニ依リ相當繁激ノ度ヲ加ヘタル毛關係諸官ノ熱心ナル努力ニ依リ概ネ適切ニ實施サレツヽアリ、

二、内地ニ於テ編成派遣セラレタル左記諸隊ノ經理官ハ何レモ豫備後備役者ニシテ決算整理等不慣ノ點多キヲ以テ時々集合セシメ之ヲ指導シ以

テ作戦ニ支障ヲ来ラシメサル如ク努力メタリ、
第三十七師團衛生隊
第二十七師團第一乃至第四野戦病院

三、第二十七師團病馬廠ニ八編成上經理官ノ配屬ナキ爲メ經理業務ノ實施ニ著シキ不便ヲ感シツヽアリ八月二十三日ヨリ主計下士官候補者ヲ配屬勤務セシメ以テ經理ノ向上ニ資シツヽアリ、

四、八月末日ニ於ケル給養人馬数左ノ如シ、
人　一七、〇〇〇人(支那人苦力共)
馬　二、二〇〇頭

第二、庶務事項

一、前月二十四日南京ニ於ケル宿営、補給ノ準備及軍トノ連絡ノ為メ先遣セシ西村主計大尉以下八、八月四日經理部ニ復歸セリ

二、北支出發ニ方リ上陸直後用豫備糧秣ノ交付及北支流通貨交換ノ為メ塘沽ニ残置セシ勝主計少尉以下八、八月九日經理部ニ追及復歸セリ

三、八月九日師團南京野戦倉庫開設ノ為メ左ノ如ク命課セリ

倉庫長　主計少尉　勝　修三
倉庫附　〃　千田貞正

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

倉庫附　主計軍曹　西山政雄
〃　主計伍長　森本孝一
〃　〃　深井義典
〃　庫手　永田實

四、八月五日中支那派遣軍経理部々員主計少佐角田進一郎業務（殊ニ装備関係）連絡ノ為メ上海ヨリ来部ス、

五、八月十三日團下各部隊経理部將校ヲ経理部ニ會同セシメ次期作戦ニ関スル準備ノ打合セヲ實施シ経理部ヨリ別冊ノ通リ指示セリ、

六、中支那派遣軍経理部南京ニ前進セシヲ以テ原

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

田經理部長ハ八月廿日該部ニ至リ師團ノ狀況報告ヲナスト共ニ別紙第二ノ如キ指示ヲ受ク、

七、師團ノ南京出發ニ方リ各部隊ニ九江附近上陸直後用豫備糧秣ノ交付殘置物件ノ收容及殘務整理ノ爲メ左記人員ヲ最終部隊出發時迄南京ニ殘留ヲ命セリ、

左記

經理部員　陸軍主計少尉　勝修三
〃　〃　本田進
經理部附　陸軍主計軍曹　西山政雄
〃　陸軍主計伍長　越川直衛
〃　陸軍技手　森本孝一
〃　〃　齊藤千歳
主計下士官候補者　二名

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

永田 寅 手

経理部附 陸軍

八、改編ニ依リ師團經理部部員トナリタル經理部
將校ハ左記ノ如ク到着セリ

左記

發令月日	旧職	着任月日	官	姓名
七月十八日	經理學校丁種學生	八月九日	陸軍主計少尉	本田 進
七月二十日	支那駐屯軍通信隊附	八月十一日	〃	藤田兎二
七月二十日	第一軍兵站監部管理部	八月十一日	〃	渡邊五郎

九、改編ノ爲メ師團經理部要員トシテ第一師團ヨリ派遣セラレタル左記ノ者ハ第二十七師團搜索隊等ニ中隊ト共ニ上海上陸汽車行ニヨリ南京到着八月五日差任セリ、

左記

陸軍主計軍曹 高野武義
〃 西山政雄

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

主計軍曹　越川直衛
主計伍長　堀内隆美
〃　鈴木誠一
〃　鈴木覺道
〃　深井義典
陸軍技手　有田敏夫
〃　古川清
〃　齊藤千歳
〃　丸谷孫次

一、八月七日欽員補充及編成増加要員トシテ左記ノ如ク發令サル、

第三十七師團經理部附　主計伍長　堀内隆美
命支那駐屯歩兵第二聯隊附

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第二十七師團經理部附　主計伍長鈴木誠一
命第二十七師團捜索隊附
同　　鈴木覺道
命工兵第二十七聯隊附
一、師團經理部ニ於テ合同教育中ノ昭和十三年度主計下士官候補者二十六名ノ教育ハ本月中旬終了セシヲ以テ八月十九日終末試驗ヲ實施セリ、
一、昭和十三年度主計下士官候補者ハ教育終了セシヲ以テ全員八月二十三日現所屬ニ復歸ヲ命シ内九名ハ同日附左記ノ如ク勤務ヲ命セリ、

左記

師團經理部勤務八名　　痍馬廠勤務一名、

一、八月二十五日昭和十三年度主計下士官候補者

ノ定員外伍長任官方ニ関シ左記ノ通リ師團長ヨリ大臣宛電報上申セリ、

記

左

電文

三月八日陸密第二一三号ニ依ル本年度主計下士官候補者二六名教育終了ニ付九月一日附定員外トシテ任官セシメ度申請ス、

一四、本月中、中支派遣軍経理部ヘ事務連絡及物資調弁ノ為メ左記ノ如ク部員以下上海ニ出張セリ、

記

左

八月十四日ヨリ二泊三日　陸軍主計中尉　望月文雄

陸軍主計軍曹　河内正義

八月十八日ヨリ二泊三日　陸軍主計少尉　千田貞正
陸軍主計曹長　山田義高

八月二十日ヨリ二泊三日　陸軍主計准尉　俺　繁三

八月二十二日ヨリ三泊四日　陸軍主計少尉　藤田兎二
陸軍主計軍曹　西山政雄

一五師團經理部ハ南京ニ殘置セシ後發人員ヲ除キ部長以下凡テ師團司令部ト同行シ三十日野戰倉庫關係ノ人員ヲ殘シ人員ヲ上陸セシメ其他部長以下八三十一日十一時大板橋ニ上陸高瓏陳村ノ宿營地ニ着ケリ

一六、八月末日ニ於ケル當師團經理部關係者職員表
別紙第三ノ如シ、

一七、當師團經理部職務分担表別紙第四ノ如シ、

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第三　金銭事項

一、金銭ノ保管出納ハ確實ニ實施シアリ前渡金ノ決算整理ハ順調ニ進捗シツツアリ

一、師團將来ノ動員ニ鑑ミ各分任官ノ決算整理遅延セントヲ顧慮シ事前ニ之カ注意ヲ喚起シ駐留間努メテ之カ整理ニ精勵スル如ク督勵スルト共ニ經理部ニ於テモ之カ調定整理ニ努カシ略完了シタリ

一、新シク配屬セラレタル動員部隊ノ經理官ハ概ネ豫後備役者ニシテ金銭業務ニ不熟ノモノ多ク之カ懇切ナル指導監督ニ努メタリ

二、師團將来ノ作戰行動間現地ニ於テ前渡金ノ受授困難ナルヘキヲ豫想シ各部隊概ネ三ヶ月分

ノ所要ヲ積算シ一括前渡金ノ交付ヲナシタリ
携行資金ノ安全ナル保管及戦地ニ於ケル金融
ノ円滑ヲ圖ルタメ差當リ不要ナル資金五十五
萬圓ヲ横濱正金銀行南京出張所ニ預托シタリ
三軍用手票ノ使用ニ関シテハ圍體長會議及ビ經
理官會議ニ於テソレソレ注意ヲ喚起シタルモ
中支ニ於ケル軍票ノ融通ハ未タ圓滑ト云ヒ難シ
漸ク中支那派遣軍ヨリ二〇、〇〇〇圓ヲ交換入手シ
得テ略所要ヲ充足シ得タリ
當初各部隊ノ指導ニ當リテハ先ツ保有スル軍
票ヨリ支拂ヲ開始シ之ヲ拂切ルモ尚補充セラ
レサル場合ニ於テ已ヲ得ス日本銀行ノヲ使用
スル如ク指導シタルモ將来ノ軍票補充難ヲ顧
慮シ、回収比較的容易ナル軍人軍屬俸給ハ一部

之ヲ日本銀行券ニテ支給シ極力之ヲ郵便貯金ニ依ル回収ニ努メ以テ地方ニ流出スヘキ物資ノ調辨ニ當リテハ心ス軍票ヲ使用スル如ク指導シタリ

偽造軍票ニ就テハ都度速ニ戒告シタル結果被害ヲ防止スルヲ得タリ

四 國内ニ於ケル貯蓄ノ勵行高昌セラルヽニ顧ミ又戰地ニ於ケル貯金ノ軍資金準備額ニ及ホス影響ヲ想ヒ各部隊傭給ノ繰上支給ヲナスニ付テハ特ニ郵便貯金ヲ奬勵スル如ク指導シ實蹟ヲ見タリ、

第四、衣糧事項

其一　補給

師團ノ南京到着初期ハ經理部又ハ員末着任ノ者多ク野戰倉庫開設不能ナリシト部隊モ亦逐次到着シ且ツ上陸直後用豫備糧秣ヲ携行セシメタルヲ以テ必要ノモノハ第八野戰衣糧廠南京支廠ヨリ部隊直接補給ヲ受クルコトヽシ部員ノ到着ヲ待チテ九日ヨリ師團司令部前旧郵儲總局燒跡内ニ野戰倉庫ヲ開設シ當初ハ各部隊ニ於テ現地調辨困難ナル生野菜、又薪炭ヨリ加給品調味品携帶糧秣並被服品ノ補給ヲ實施シ師團ノ南京出發ト同時ニ閉鎖セリ、此ノ間ニ於テ各部隊ニ補給セシ品目数量別紙第五ノ如シ

尚砂糖ハ補給廠現品ナク師團ニ於テ市中ヨリ購入セリ

其二 給養 裝備

師團將來ノ作戰地ノ詳細ニ關シテハ未タ決定セサルモ豫想戰場一般ノ給養判斷ヲ參謀本部ノ給養地史文獻ニヨリ別冊第十ノ如ク判斷シ之ニ戰場ノ地形ニ依ル行李輜重ノ追隨困難並ニ後方兵站ノ延進遲鈍ヲ豫期シ左記ノ如ク裝備ノ變更ヲ實施シ南京ヲ出發セリ

左記

一、被服裝備

將校以下背嚢ヲ用ヒス携帶天幕幕布及背負袋ニ携帶糧秣及彈藥並日用品夏襦袢一、靴下三乃

至五ヲ分割携行セシメ、着替ノ襦袢下着毛布ハ南京ニ残置セリ、一般被服以外ノモノニシテ各兵ニ携行セシメシモノ左ノ如シ

鉄帽（覆共）
被甲
防蚊覆面
防蚊手袋（一部ノ）
地下足袋、

二、給養装備

給養装備ハ八月二十二日命令ヲ以テ別紙第六其一其二ノ如ク変更シ南京ヲ出発スルコトセリ、

三、給養器具

給養器具ハ北支及内地ヨリ携行セシモノノ内沸水車一輛ヲ機能不良ノ為メ交換シ又定数ナキ疫馬廠ニ軍ヨリ補給ヲ受ケ一輛増加装備シ別紙第七ノ如キ實況ニテ南京ヲ出發セリ、以上ノ給養器具ハ將来作戦地ノ地形上使用不能ノ場合豫想セラルモ使用シ得ル地点迄利用スルコトトシ携行セリ、

四、豫備糧秣

南京ヨリ前進ニ方リテハ次期上陸地ニ於ケル兵站補給施設ノ不明ナルト從来ノ經驗ヨリ上陸直後師團自ラ補給ヲ確保スル為メ糧秣船ノ

至五ヲ分割携行セシメ、着替ノ襦袢下背嚢毛布ハ南京ニ残置セリ、一般被服以外ノモノニシテ各兵ニ携行セシメシモノ左ノ如シ、

鉄帽（覆共）
被甲
防蚊覆面
防蚊手袋（一部ノ）
地下足袋、

二、給養装備

給養装備ハ八月二十二日命令ヲ以テ別紙第六ノ如ク変更シ南京ヲ出発スルコトヽセリ、

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

三、給養器具

給養器具ハ北支及内地ヨリ携行セシモノ、内沸水車一輛ヲ機能不良ノ為メ交換シ又定数ナキ疫馬廠ニ軍ヨリ補給ヲ受ケ一輛増加装備シ別紙第七ノ如キ資況ニテ南京ヲ出發セリ、以上ノ給養器具ハ将来作戦地ノ地形上使用不能ノ場合豫想セラルモ使用シ得ル地点迄利用スルコトトシ携行セリ、

四、豫備糧秣

南京ヨリ前進ニ方リテハ次期上陸地ニ於ケル兵站補給施設ノ不明ナルト從来ノ經驗ヨリ上陸直後師團自ラ補給ヲ確保スル為メ糧秣船ノ

運行ヲ関係部隊ニ交渉セルモ船舶不足ノ現状ニ於テハ實現不可能ナリシヲ以テ各船ノ餘積ヲ以テ部隊毎ニ約十日分ノ尋常糧秣及加給品若干ヲ携行セシメ給養ニ充ツルコトヽシ師團經理部ニ於テ第八野戦衣糧廠南京支廠ヨリ受領シ各部隊出發ノ前日即チ歩兵第一聯隊本部及第一大隊ノ二十五日ニ第一回トシ逐次交付シ携行セシメタリ、

其三、給養實施、

一、南京滞在間

師團司令部ヲ始メ各部隊ハ主トシテ主食及生魚冷凍魚ハ第一野戦衣糧廠南京支廠ヨリ其他ノモノハ主トシテ師團南京野戦倉庫ヨリ補給

ヲ受ケ部隊自炊ニヨリ實施シツヽアリ然レト
モ城内外ノ交通制限ノ爲メ生獸肉並生野菜ノ
手入困難ナル狀況ニアリ又生魚ハ内地ヨリノ
追送狀態良好ナラサル爲メ滯在間僅カニ使用
シ得タル程度ニシテ獻立ノ單調ヲ免レ得ス著
シク困難ヲ感シタリ、之ニ加フルニ補給廠ヨリ
調味品類ノ補給ヲ斷絶シ市中ノ支那醬油ヲ利
用スル等ノ不便ニ遭遇セリ、
尚八月中旬城門ノ通過制限緩ニナリテヨリハ
生野菜ヲ獲得容易トナレリ、
八月中師團野戰倉庫ニ於テ調辨ノ上部隊ニ補
給セシ品目ノ主ナルモノ左ノ如シ

南瓜
冬瓜
葱
蓮根

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

白菜根　山芋
茄子　里芋
隠元豆　甘藷
玉子　南瓜
素麺　白菜
洋葱

馬糧ハ凡テ第八野戦衣糧廠ヨリ各部隊直接補給ヲ受ケ藁ノ給ハ各部隊城外ヨリ購入一週間ニ乃至三日ノ割ニテ給餌セリ、

二、船舶輸送間、

船舶輸送間ハ人馬共凡テ船舶ノ給養ヲ受ク、

三、九江附近滞在間、

各部隊上陸直後ハ豫備糧秣トシテ携行セシモノヨリ給養實施セリ、

宿營地附近ハ住民家畜ヲ連レテ山地ニ避難セル爲メ生獸肉ノ獲得困難、又附近一帶水田ニシテ藁ノ入手容易ナルモ生野菜類ハ畠地少ク僅ニ里芋、南瓜ヲ入手利用シ得ル狀態ニシテ師團ノ長期滯在ニハ相當遠距離ヨリ流入ノ路ヲ講スル要アリ、

其四、被服事項

一、北支ヨリ轉進セシ各部隊ハ被服ノ裝備ハ野戰靴工具及防雨外套ノ一部ヲ除キ其他ハ完全ナリシモ内地ヨリ編成派遣セラレタルモノニハ被服ノ整備不完全ナルモノ多ク鉄帽防毒面甲

スラ有セサルモノアリ、鉄帽覆、防暑帽、防蚊覆面
同手袋、背負袋、地下足袋等ハ全部ニ亘リ携行シ
アラサルヲ以テ第十一軍経理部及中支那派遣
軍経理部等ト連絡ノ上南京ニ於テ補給機関ヨ
リ受領シ得ルモノニシテ、ミハ師団経理部ニ於テ受
領ノ上野戦倉庫ヨリ夫々交付南京出発時迄ニ
左記被服ヲ除キ整備ヲ完了セリ、
尚不足ノ鉄帽及被甲ハ戦列部隊ニシテ一部内
地編成ノモノ、為メ師団経理部又ハ当該部隊
本部ニテ一般被服以外ノモノヲ準備携行セシ
モ該部隊内地ヨリ整備シ来リシヲ以テ不用ト
ナリタルモノヲ充当シタル為メ軍ヨリ補給ヲ
受クル要ナク、帰ロ過剰品ヲ返納セシ状況ナリ

防雨外套、

防蚊手袋、
被覆、

二、第一項ノ為メ南京ニ於テ補給ヲ受ケタル被服品ノ品目員数別紙第八ノ如シ、

三、南京出發ニ方リ被服装備変更ノ為メ不用トナリタル被服(防塵眼鏡、背嚢毛布、天幕用被服蚊帳ハ各部隊毎ニ取纏メ南京旧鉄道部内ノ一棟ニ残置セリ、

四、防暑帽ハ次期作戦ニハ其要ナキモノト認メ只テ南京ニ於テ補給廠ニ返納セリ、

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第五、物品事項

一、給養品ニ関シテハ前記ノ如シ、

二、各部隊ハ北支ヨリ轉進ニ方リ一切ノ物品中直接戰鬪ニ必要ナルモノ、外交代部隊ニ引継キタルヲ以テ南京滞在間ハ應用品ニヨリ一時ノ間ニ合セタリ即チ宿營地内ニ殘サレタル住民ノ机等ヲ利用スルカ梱包箱等ヲ代用セリ、

三、師團ハ南京攻略後第十軍司令部ノ跡ニ入リタル師團司令部ノ前送ノ為メ師團ニ引継キタルモノヲ修理シ又ハ破損ノ為メ放置セラレアリシモノヲ修理シ使用シ大部分ハ特務機関ノ仲介ニヨリ支那人ヨリ賃借使用セリ、

四、師團ハ南京攻略後城外ヨリ及遠距離ニ轉進ノ際ハ特ニ

團部隊經理發展ニ鑑ミ兵站兵站軍事連絡ノ為並ニ物資
材料ノ補給整理機關ニ職責ヲ擔任セシムルモノトシ
也テ團痩經務部ヲ改メ從來ノ儘ニ置キ出發時迄ニ四
名ノ患者ヲ出セリ、

四、八月六日野經衣第三五〇号ヲ以テ野戰經理長
官ヨリ經理部長宛給水資材ノ移管並給水勤務
ニ關スル經理機關ノ職責ニ關シ通牒アリシヲ
以テ團下經理部將校ニ移牒シ置ケリ、

第六營繕事項、

師團ノ南京到着時ハ第百一、第百六師團ノ後方
部隊第二軍、第十一軍及中支那派遣軍ノ直轄部
隊多數宿營シアリ爲メニ師團司令部カ第十一
軍司令部跡ヲ引継キ大建物ニ入リタル外城内

全般ニ亘リ他部隊ノ使用残リノ掠奪破損セル一般民家ニ分散宿營シ又南京駐留毛師團ノ目的ニ鑑ミ長期ニ亘ラサルモノト考ヘ單ニ雨露ヲ凌ク程度トシ假設物等ノ施設ヲナサヽリキ然ルニ九江方面ヘ前進ノ船舶輸送運マトシテ進マサル爲メ滞在一ケ月近クトナリ著シキ不利不便ヲ感セリ、

一、廳舍及兵舍、

師團司令部及通信隊ノ日本軍隊ノ使用後ヲ引継キ使用セル外凡テ住民ノ避難セル空屋ト思シキ窓扉電燈水道施設破壊セラレタル建物ニ分散宿營シ全然揚床等ノ設備ヲナサス只等ハ野戰衣糧廠南京支廠及第一野戰建築部南京支

部ヨリ、アンペラノ補給及交付ヲ受ケ数キタル程度ナリ、

二、便所、入浴場及炊事場、

南京ニ於ケル部隊ノ假設物等ハ第三師團(經理部)之ヲ統轄シ第一野戰建築部南京支部工事ノ實施ニ從ヒ居タルモ當時工事繁激ニシテ師團ノ工事ヲ實施スル餘裕ヲ有セス且ツ師團ノ滯在日數モ僅少ナル豫定ナルヲ以テ團下各部隊ノ請求ニ基キ經理部ニ於テ所要材料ヲ積算ノ上第一野戰建築部或ハ第三師團經理部ヨリ一括交付ヲ受ケ部隊ニ交付シ經理部附技手四名ヲ分巡指導ノ下ニ各隊兵力ヲ以テ、アンペラ張便所ヲ假設セル程度ナリ、

炊事場及入浴場等ハ構築セス廢屋内ニドラム
鑵ヲ据付代用トセリ、
尚各部隊ハ務メテ支那風呂ヲ利用セシメタリ、

三、電燈及水道
狀況報告ノ通リ、

四、廐舍、
狀況報告ノ通リ、

第七、通保、
狀況報告ノ通リ、

第八、殘置物件、
南京ヨリ前進ニ方リテハ次期作戰地ノ實情ニ
鑑ミ前記ノ如ク裝備替ヲナシ作戰間不要トナ

ルヘキ被服及南京ニ於ケル宿営用トシテ北支ヨリ携行セシ蚊帳、毛布、炊具並行李ノ関係上将校ニ名ニ付一個トセシ為メ残置スヘキ将校行李等ハ南京ニ残置スルコトヽシ南京旧鉄道部師團師令部内ノ一棟ニ部隊毎ニ區分小部隊ハ一室ニ二ケ隊迄シ下士官以下一〇名ノ監視員ヲ附シ残置セリ、

右監視員ノ給養ハ引續キ同令部内ニ入ルヘキ第十五師團経理部ニ依頼セリ、

第九　希望意見

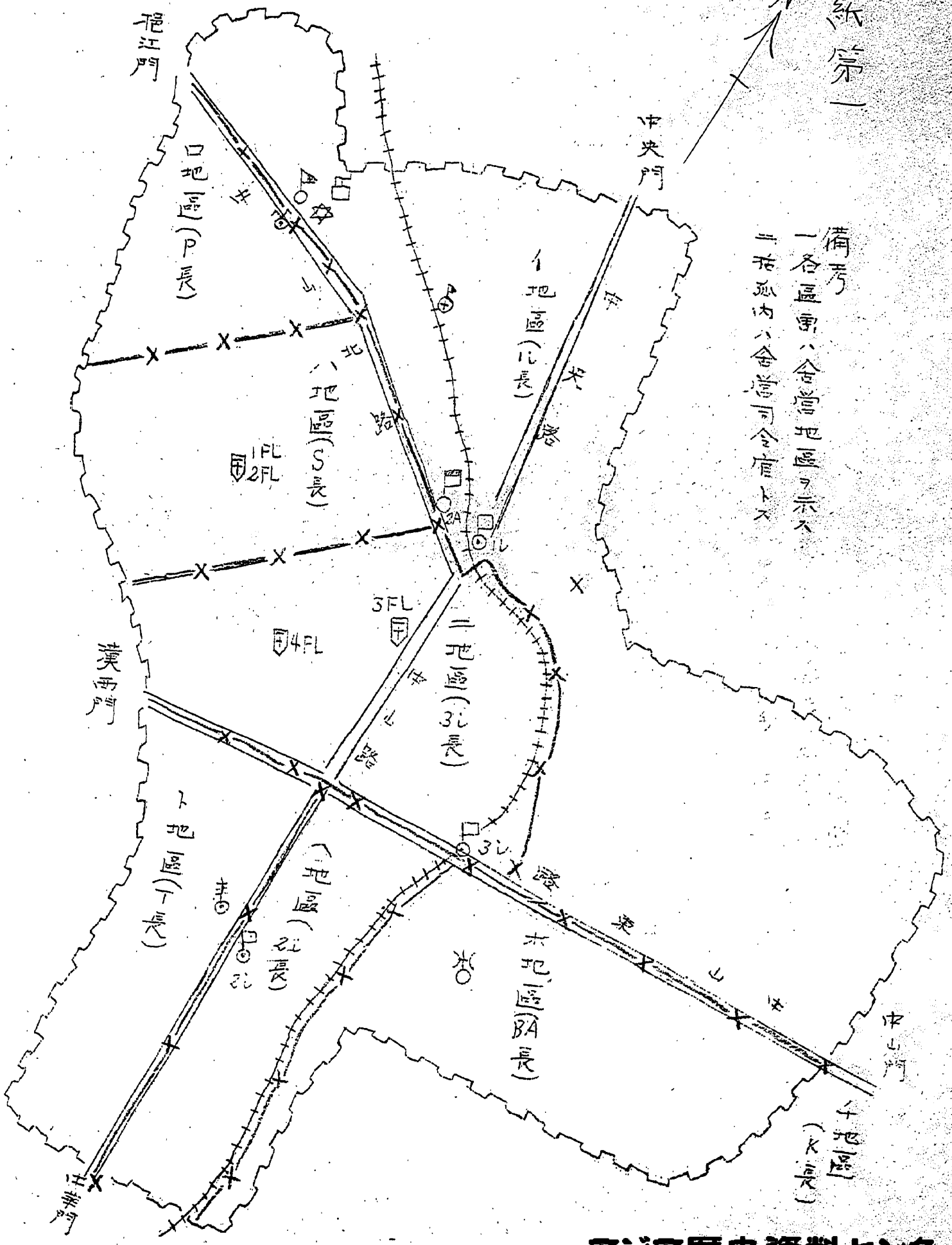
今回編成サレタル第二十七師團疫馬廠ニハ全然経理官ノ配属ナク将来多数疫馬ヲ収容セル暁ニハ相當太サル給養単位トナルヘク然ラサ

ル場合ニ於テモ全然獨立シテ經理ヲ營ムモノナルヲ以テ目下ハ止ムナク教育終了セル主計下士官候補者ヲ配屬勤務セシメ右候補者ノ定員外伍長ニ任官後ハ正式ニ定員外トシテ配屬セシムル豫定ナルモ速ニ正式ニ編成上經理部將校一下士官一ヲ配屬スル如ク詮議アリ度、

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

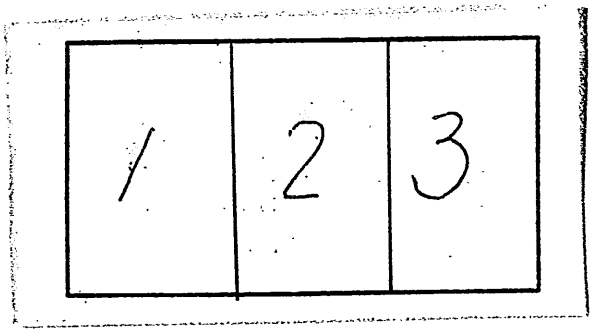
別紙第一

第二十七師團配宿要圖



アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A３判以上のため

上記のとおり分割撮影したことを証明する

8 年 1 月 18 日

主務者又は

撮影立会者 坂根嘉和 ㊞

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

別紙第五

第二十七師團經理部將校及判任官職員表（昭和十三年九月現在）

第二十七師團經理部

部隊名	職	官	氏名
第二十七師團經理部	部長	主計中佐	原田佐次郎
	部員	主計大尉	西村忠一
	同	主計中尉	望月文雄
	部員	豫主計少尉	藤田勉二
	同	同	渡邊五郎
	同	同	勝修三
	同	同	千田貞正
	同	主計少尉	本田進
	部附	主計准尉	庵繁三
	同	主計曹長	野々村光雄
	同	同	山田義高
	同	主計軍曹	高野武義
	同	同	西山政雄
	同	同	越川道衛
	同	同	井家上美則
	同	同	武田武太郎
	同	同	河内正義
	主計伍長	森本孝一	
	同	同	深井義典
	技手	有田敏雄	
	同	同	古川清
	同	同	齊藤千歳
	同	同	丸谷孫次
	主計大尉	沼澤榮一	
	主計少尉	寺門朝之介	
	豫主計少尉	大溝金治	
	主計准尉	丹野善治	
	主計軍曹	研山一夫	
	同	國谷馨	
	豫主計伍長	宮澤政良	

支那駐屯歩兵第一聯隊			
	聯隊長	陸軍歩兵大佐	小林恒
	副官	陸軍歩兵大尉	小林正
	同	陸軍歩兵中尉	小林正
	同	陸軍歩兵中尉	小林正
	同	陸軍歩兵中

0150

聯隊	附		
	同		
	同		
	同		
	同	輜重兵	片山秀治
	同	縫工伍長	
	同	裝工曹長	藤井勇
	同	裝工伍長	伊藤宇三郎
	同	大尉	岡田繁一
	同	中尉	末久滉雄
	同	少尉	松山善高
	同	准尉	佐野千秋
	同	曹長	小出榮重
	同		中村紀
	同	伍長	堀内隆美
	同	曹長	門脇陽虎
	同	伍長	小林松司
	同	曹長	今井貞一
	同	伍長	菊地昌治
	同	大尉	近藤常秀
	同	中尉	金子禮二
	同	少尉	富村嘉兵衛
	同	准尉	荻原忠
	同	曹長	川原直吉
	同	曹長	岡野為吉
	同		中崎勘次郎
	同	一等	熊谷眞一
	同	伍長	田中秋義
	同	准尉	武川幸一
	同	伍長	高嶋長市
	同	中尉	富中忠彦
	同	曹長	淺利彦造
	同	伍長	鈴木誠一
	同	准尉	宮崎高重
	同	伍長	栗澤與四郎
	同	准尉	寶神嗣雄
	同	中尉	廣瀬惟譽
	同	少尉	佐藤辰雄
聯隊	附		
	同		
	同		
	同		
	同

| | | |

秘

別紙第四

昭和十三年 第二十七師團經理部業務分担表

部長	主任	分課	分担業務
高等官	判任官		
西村大尉(兼)		庶務科	一、命令通報報告及往復文書ニ関スル事項 二、陣中日記ノ記載
	渡辺少尉兼管		三、經理部將校高等官以下ノ勤務及教育ニ関スル事項
	庵 准尉		四、經理部ノ人事功績ニ関スル事項
	井家上曹		
	有田技手		五、土地建造物ノ經営ニ関スル事項
	古川技手		
	齊藤技手		六、以上ノ外他科ノ管掌ニ属セサル事項
	丸谷技手		
望月中尉		主計科	一、軍資金ノ調達軍用及補給ニ関スル事項
藤田少尉 (分任官金前渡官吏)			二、軍資金ノ保管出納及決算証明ニ関スル事項
	庵 准尉(兼)		三、會計經理ノ指導監督檢査ニ関スル事項
	山田曹長(兼)		四、貨幣ノ流通交換其ノ他金融ニ関スル事項
	高野軍曹		五、取立金等ノ収納整理及決算等ニ関スル事項
	河内軍曹		六、戰利貨幣有價証券等ノ整理ニ関スル事項
			七、金銭事務ニ関スル諸報告其ノ他金銭事務ニ関スル一切ノ事項
西村大尉		衣糧科	一、糧秣被服馬匹手負陣中事務用品給養器具燃料天幕兩覆其ノ他諸物品調達管理補給ニ関スル事項
望月中尉(兼)			
勝 少尉			二、野戰倉庫ニ関スル事項
千田少尉			三、運搬具及労力ノ徴収使用ニ関スル事項
本田少尉			四、給水ニ関スル事項
野々村曹長			五、物資及物價ノ調査給養品ノ生産奨勵市場開設地方工場ノ利用等ニ関スル事項
西山軍曹(兼)			
越川軍曹			六、戰利ノ糧秣被服其ノ他諸物品ニ関スル事項
武田軍曹			七、野戰酒保ニ関スル事項
森本伍長			八、日用品及慰安品ニ関スル事項
深井伍長			九、衣糧事務ニ係ル諸報告其ノ他衣糧事務ニ関スル一切事項

備考

本表ノ通リ定メルト雖各科ハ業務ノ繁閑ニ依リ彼此相援ケ以テ業務ノ円滑ヲ期スルモノトス

別紙第五

品目	員数
葱	七、〇一四斤
茄子	七、一四二〃
長豆	六、六六〇〃
小芋	三、三一〇〃
里芋	四、四四〇〃
百合	二、八〇五〃
豆萠	三、八二〇〃
北瓜	四、六〇五〃
南瓜	二、二二七〃
白菜	六、〇一八〃
蓮根	六、〇二六〃

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

0155

薪	玉子	素麺	薩摩芋	瓜	洋葱	東瓜
	八、八〇〇個	一四〇〆	四、〇九〇〆	三、二五五〆	五二〆	五三〇〆

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

別紙第六其一

作戦間給養装備表（除輜重）

人糧	携行区分	精米	乾パン	携帯缶詰肉	携帯食塩	粉味噌	加給品（甘味品）	煮沸燃料	飲用水
	携帯口糧	濃厚飼料（四・五ヲ瓦）（約三升五合）	四食	二日分	十日分	七日分	若干	二食	無當
	大行李			携行定量ノ約三分ノ二ノ二日分					
馬糧	携帯馬糧	二日	務メテ圧搾馬糧ヲ充當シ乏外ニ						
	大行李	二日	馬塩若干ヲ増加ス						

備考

一、以上ノ糧秣ノ乾パンヲ除ク使用ニ方リテハ使用定量ヲ左ノ如ク定ム

人糧　携行定量ノ三分ノ二

馬糧　濃厚飼料一、五ヲ瓦

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

2 右ニ對スル不足ハ努メテ現地物資ヲ以テ充ツルモノトス
3. 戰況之ヲ許サバ努メテ定量ニ應シ補給ス
4 現ニ各部隊ニ有スル繃帶ハ之ヲ携行スルモノトス
5 本表ハ各部隊携行裝備ノ最少限度ヲ示スモノトス

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

別紙第六其二、

輜重積載糧秣

積載區分	數量	備考
自動車中隊	人一日分	人糧一日分ノ内一食粉ハ乾パンヲ積載ス、
	馬一日分	別軍患者食一〇〇〇人分ヲ混載ス、
携行	人	自動車中隊積載ノモノト同シ、
	馬	輜重兵聯隊ニ於テ荷物トシテ上陸地ニ携行ス

備考、

一、携行ノ輜重ノ積載糧秣ハ九江附近ニ於テ輜重ノ配屬ヲ受ケ之ニ積載ノ豫定、

二、給養兵額 人 〇、六五、馬 〇、五五トス

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

0159

別紙第七

給養器具現況表

八月三十一日現在

第三十七師團經理部

部隊名 / 品目	九七式布濾水器	九七式洗米車	濾水車	野戰炊具	石井式濾水器	九七式炊事自動車
♪				14		
✡						
1i	20	14		4	4	
2i	14	14	4	3		
3i	14	14	4			
K	4	2		2		
BA	10	7	3	6		(1)
P	2	2	1	1		
T	3	2	1	3		
DTL	2	1	1	1		
S	4	4	2	6		
BL	1					
1FL	2	2	1	6		
2FL		2	1	1		
3FL		2	1	2		
4FL	2	2	1	2		
計	76	61	20	52	4	(1)

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

別紙第八

品目	員数	摘要
背負袋	二〇〇	
馬匹用日覆	一、五〇〇	
毛布	一、四五〇	
鉄帽覆	二、一〇〇	
雑嚢	一一〇	
水筒	二五〇	第十二軍経理部ニ
飯盒	二五	請求ノ分
蚊帳	二二〇	
編上靴	二、五〇〇	
華脚袢	二〇	
被「フ」	六〇〇	

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/